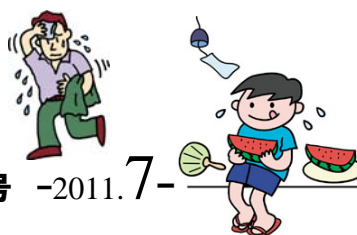




木の香る 健康な  
”すまい便り”

増刊号 -2011.7-



- ・ イベント情報
- ・ この夏に求められる節電とは
- ・ 22年国勢調査から
- ・ 「隣にビル」太陽光トラブル
- ・ 社長の一言
- ・ イベント情報
- ・ 家づくりのヒント「縁側」

イベント  
情報

「設計士の友人と家づくりを楽しんだ住まい “出来た家” 見学会」開催！ 7/23・24 (土)・(日)

「家を建てたいけれど、カタにはまった家じゃ、おもしろくないし・・・」「でも、お金がびっくりするくらい掛かっても困るし・・・」と感じたことはありませんか？  
家を建てるにはお金がかかります。でも、同じ払うなら「普通にキレイなお家」よりも、「こだわりのある素敵な家」なら、どうですか！？  
そう感じた若いご夫婦が、設計士の友人に相談に乗ってもらい、とことん考えぬいた家を実現させました！  
今回施主様のご好意により完成見学会を開催させていただきます。古い町家の雰囲気や憧れて玄関ホールに土間を作り、木が大好きなので随所に木をあしらってもらい、温かい雰囲気。小さい子供さんがいらっしゃるので、どこにいても目が届くように間仕切りを少なめ・・・などなど見所満載です！



開催日時は7月23 (土)、24 (日) 10:00~15:00、場所は京都府相楽郡精華町桜が丘1丁目28-7の閑静な住宅街です。是非お越しくださいね。

情報

この夏に求められている節電とは？

今回求められている「節電」とは瞬間最大使用量、いわゆる電力使用のピーク値を下げることです。それに対して「省エネ」は電気をはじめ全てのエネルギー使用量を減らすという意味なので、ピーク時に関係なく使う量を減らすことになります。そこで、夏の電力を「電力消費を減らす」・「利用時間をずらす」事をポイントに電気の使い方をお話します。

まず使う電力を「減らす」事ですが、ポイントはエアコン、冷蔵庫、照明器具、テレビの4つ。この4つで家庭の電力の7割を消費すると言われていています。これを効率よく節電するには、稼働台数を減らす事です。一般の家庭に2台以上あるといわれるエアコンは、1台の運転にすればエアコンの電力消費は半分。さらに家族が1ヶ所に集まる事でテレビや証明の使用量も減り節電になります。今年は個々の部屋で過ごす時間を減らして、家族で過ごす時間を増やす事で無理なく大きな節電効果が生み出せます。

もう一つは「時間をずらす」ことで、こちらも大きな効果を生みます。今求められている節電は供給できる最大電力量の範囲を超えない事なので、電気の使用が多い9~20時、特

に集中する13~16時は掃除や洗濯などの家事を避ける事をお勧めします。

また、お湯を沸かす場合は電気ポットを使わずにコンロを使うなど電気以外の「切り替え」もお勧めします。さらに古い家電や照明器具は最新の省エネ機器に買い換える事も大きな節電に繋がります。あるいはエアコンや掃除機のフィルターなどは常にきれいしておくのも効果があります。

最後に暑い夏を迎えて「節電」を意識するあまり熱中症になる方が増えるのではないかと心配されています。エアコンを使わないのではなく、上手に使う事をお勧めします。エアコンの消費電力は設定温度を1℃上げるだけで10%も節電効果があります。体感温度を決めるのは「温度・湿度・気流」です。このため、エアコンの設定温度を上げて扇風機との併用することをお勧めします。こうすることで無理なく「節電」と「熱中症予防」につながります。



木の香る健康な住まい  
徳矢住建 株式会社

お問い合わせは！  
TEL (0742) 33-4389

 Tokuya 徳矢住建株式会社  
http://www.tokuyajyuku.co.jp/